



みんなでがんばろう🇯🇵日本


 2025 年度 年次報告書
 Children's Future Support Foundation

公益財団法人 子ども未来支援財団

当財団の理念

復興支援を通じて、次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。

目指すビジョン

子どもたちが夢と希望を育む環境を実現する。

設立～2026年5月末まで

東北への
支援額

56.46億円

支援した人数
および団体

84,770人と848団体

※詳しい支援活動の内容は、中面をご覧ください。

設立～2023年3月末まで

ご寄付額および
ご寄付人数

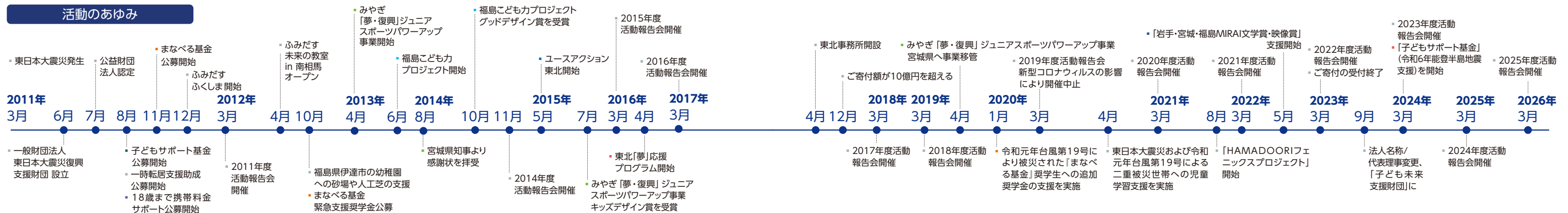
15億8,224万148円

延べ24,200人以上

※Yahooネット募金、つながる募金など寄付プラットフォームで寄付いただいた件数は、月単位でまとめて計算される為、実際の累計人数とは異なります。

※寄付の受付は2023年3月末で終了させていただきました。

活動のあゆみ



ごあいさつ



公益財団法人
子ども未来支援財団
代表理事

秋山 忠正

平素は子ども未来支援財団の活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年度も、皆さまからお寄せいただきましたご支援とご協力に支えられ、子どもたちの学びや成長を後押しする活動を支援することができました。皆さまの善意は、子どもたちの喜びや挑戦を支え、新たな可能性を育む大きな力となったと確信しております。温かいご支援に深く感謝申し上げます。

東日本大震災から15年経ちました。この節目を迎えた今、震災直後から今日まで財団の活動を温かく見守り、お力添えくださった皆さまへの感謝とともに、その歳月の重みを改めて深く感じております。「被災地の子どもたちの力になりたい」—その切なる願いから始まったご支援の輪は、皆さまの善意によって育まれ、子どもたちが夢や希望を抱き、自らの力で歩いていくための確かな支えとなったと考えております。

一方、この15年の間に、社会や子どもたちを取り巻く環境、そして直面する課題も大きく変化しました。しかし、どのような環境にあっても、子どもたちの可能性を信じ、一人ひとりに寄り添おうとする想いは変わることなく受け継がれています。その積み重ねこそが、財団の礎となり、子どもたちへ希望を届ける力となっております。

震災から15年という節目を迎えるにあたり、改めて深く胸に刻んでおりますのは、今日まで財団を支えてくださいました皆さまへの感謝です。皆さまのご寄付や温かいご協力、励ましのお言葉により、子どもたちの笑顔や挑戦を支援する原動力となって来ました。その尊いご支援に、改めまして深く御礼申し上げます。

長きにわたり財団を支えてくださいましたすべての皆さまに、改めまして心より感謝申し上げます。皆さまが紡いでくださった支え合いの輪が、これからも子どもたちの希望を照らし、未来へと受け継がれていくことを願っております。私たちは、これからも、引き続き子どもたちの笑顔や挑戦を支え続けていきたいと考えております。変わらぬご支援のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

HAMADOORIフェニックスプロジェクト事業報告／卒業式を開催

3期生9名がそれぞれの事業成果や今後の展望について発表しました。アパレル、AI・音声技術、クラフト酒造、地域資源を活用した飲食事業、農業、健康づくり、教育、玩具レンタルなど、多様な分野における今後の取り組みや展望を発表いただきました。地域の特色を生かしながら新たな価値を創出する挑戦が着実に進展していることが報告されました。

報告会の終盤には、本プロジェクトの主体運営を担ってきたHAMADOORI13へ、当財団から感謝状を贈呈し、プロジェクトの推進と地域の起業家支援に尽力いただいたことへの感謝をお伝えしました。

今回の報告会では、採択者一人ひとりが地域への想いを胸に挑戦を続けている姿に触れ、その取り組みが着実に地域へ広がっていることを実感しました。今後も皆さまがそれぞれの目標に向かって挑戦を続け、浜通り地域の未来を支える存在としてさらに活躍されることを期待しています。



子どもサポート基金(令和6年能登半島地震への支援)オンライン学習会を実施



子どもサポート基金では、助成先8団体を対象に、2025年6月から2026年3月まで全6回のオンライン学習会を開催しました。

被災地では、子どもたちを取り巻く課題が時間の経過とともに変化しており、支援活動を継続・発展させるためには、団体同士が学び合い、つながる機会が重要となっています。学習会では、子ども理解や支援の実践、ボランティアとの連携、団体運営などをテーマに専門家による講義や意見交換を行い、それぞれの活動で得られた知見や課題を持ち寄り、学びを深めました。参加団体間の交流が深まり、日頃の相談や情報共有が活発になるなど、支援団体同士のネットワークづくりと活動の充実につながりました。今後も、団体同士が支え合える環境づくりを進めるとともに、地域や関係機関との連携を深め、子どもたちを支える取り組みが地域に根づくことを目指します。

学べるしあわせをみんなに。
高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

給付型奨学金
まなべる基金



東日本大震災の影響により家庭の経済状況が変化し、就学や進学が困難、また、経済的な理由により、学校生活に支障をきたす高校生のための返還不要の奨学金制度です。高校入学から卒業までの間、最大81万円を給付しています。高校生向けの給付型奨学金制度が少ない中、進学・就学が困難な状況においても学ぶことをあきらめない高校生を応援し続けています。

支援総額 18.65億円 支援人数 3,441人
※2026年5月までの支援総額

連携団体
◎NPO法人ジービーパートナーズ



支援への御礼コメント

寄付者の皆さま、3年間本当にありがとうございました。
高校ではレスリング部に入り、寮生活を送りながら勉強と部活どちらも本気で取り組んできました。いただいた奨学金は資格取得のための検定料や部活の遠征費、寮費に充てさせていただきました。卒業後は大工になるための育成プログラムに参加し、実際に現場で働きながら専門技術を習得していきます。そして大工になる夢を実現し、家づくりを通して地元の活性化に貢献したいと思います。
(岩手県宮古市出身／2026年3月卒業)



従来の「子どもサポート基金」のスキームを利用し能登半島地震における子ども支援を実施
「子どもサポート基金」(令和6年能登半島地震支援)



2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」で被災した子どもたちができるだけ早く日常の生活を取り戻し、心身の健康を回復していただくために、対象地域で「子ども食堂支援事業」および「安心・機会サポート支援事業」を行う団体への助成を実施しています。

支援総額 2,500万円 支援件数 22団体
※2026年5月までの支援総額
※本支援は東北支援でお預かりした寄付金を充当しておりません



支援への御礼コメント

皆さまのご支援に感謝いたします。地域の子どもたちがみんなの家に集まり、一緒に食べて、遊ぶ機会を提供することができました。また、子どもたちと地域住民と一緒に食事をするのが人の交流を生み、コミュニティの維持にもつながっていくと思っています。子どもたちの元気が、地域の元気につながることを信じて活動を継続していきたいと思います。今後も継続的な支援をよろしくお願いします。
(団体名：一般社団法人奥能登日置らい 活動場所：石川県珠洲市)

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金

子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ
子どもサポート基金



東北の子どものための支援活動に取り組むNPOやボランティア団体への助成を行っています。団体が継続して活動できるよう、複数年にわたる助成を行うとともに、組織の基盤強化をサポートし、子どもたちが希望を持ってたくましく成長できる環境づくりを支援しています。

支援総額 15.98億円 支援件数 496団体
※2026年5月までの支援総額



支援への御礼コメント

この度は、子どもサポート基金による温かいご支援をいただき、心より御礼申し上げます。
皆さまからのご寄付のおかげで、子どもたちが地域の自然と触れ合い、豊かな『生きる力』を育むための活動を継続することができました。多様な自然体験を通じて、子どもたちの笑顔と逞しさを守る活動に、これからも地域一体となって取り組んでまいります。
今後とも温かいご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(団体名：特定非営利活動法人 浜わらす 活動地域：宮城県)



福島県浜通りの未来のための起業家応援事業
HAMADOORIフェニックスプロジェクト



福島県浜通りは、地震と津波、福島第一原子力発電所事故という多重災害により甚大な被害を受け、復興に時間を要しています。HAMADOORIフェニックスプロジェクトは、福島県浜通りで起業したいという地域貢献意識を強くもち、地域のリーダーとなりうる若者を応援するための起業家応援事業です。1期～3期までの17団体の若手起業家たちが浜通りに活気を与えてくれています。

支援総額 4.98億円 支援件数 17団体
※2026年5月までの支援総額

協力団体
◎HAMADOORI13 ※募集受付や交付決定者および団体への伴走などを主体となり実施



支援への御礼コメント

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から15年が経ちます。福島における東日本大震災は「地震、津波、原発事故」という複合的な災害であり現在も避難指示の続く地域も存在します。まだまだ様々な課題を抱える福島県浜通りですが、皆さまからの温かいご支援により、若手起業家が新しい事業をスタートさせ浜通りに新しい希望を生み出してくれています。この地域の子どものための未来の発展に寄与できるよう引き続き取り組んでまいります。今後ともご支援いただけますと幸いです。

(団体名：一般社団法人HAMADOORI13 活動地域：福島県浜通り地域)

2025年度 財務報告

2025年6月1日から2026年5月31日まで

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	957,264	379,413	577,851
特定資産受取利息	957,264	379,413	577,851
受取寄付金	327,961,326	369,971,706	△ 42,010,380
受取寄付金	327,961,326	369,971,706	△ 42,010,380
雑収益	9,031,778	10,182,675	△ 1,150,897
受取利息	145,265	43,500	101,765
助成金返金益	5,784,009	4,797,314	986,695
寄附金返金益	3,102,504	5,341,861	△ 2,239,357
経常収益計	337,950,368	380,533,794	△ 42,583,426
(2) 経常費用			
事業費	270,605,103	355,690,294	△ 85,085,191
旅費交通費	2,340,003	2,840,382	△ 500,379
賃借料	5,958,660	5,958,660	0
業務委託費	9,254,009	9,066,388	187,621
支払助成金・支払寄附金	250,982,740	335,812,726	△ 84,829,986
まなべる基金	46,732,500	40,308,250	6,424,250
子どもサポート基金	93,792,500	134,045,000	△ 40,252,500
子どもサポート基金（能登支援）	6,085,000	16,375,000	△ 10,290,000
18 歳まで携帯料金サポート	0	40,256	△ 40,256
福島人材育成支援（福島こども未来塾）	0	5,000,000	△ 5,000,000
起業家応援事業	103,550,000	132,950,000	△ 29,400,000
その他の寄附	822,740	7,094,220	△ 6,271,480
その他の事業費	2,069,691	2,012,138	57,553
管理費	39,199,609	39,829,934	△ 630,325
給料手当	3,994,908	3,994,908	0
業務委託費	5,210,512	8,661,397	△ 3,450,885
通信運搬費	3,640,063	3,431,094	208,969
支払報酬	3,518,350	3,516,700	1,650
出向負担金	15,974,721	13,874,233	2,100,488
その他の管理費	6,861,055	6,351,602	509,453
経常費用計	309,804,712	395,520,228	△ 85,715,516
評価損益等調整前当期経常増減額	28,145,656	△ 14,986,434	43,132,090
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	28,145,656	△ 14,986,434	43,132,090
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	28,145,656	△ 14,986,434	43,132,090
一般正味財産期首残高	60,308,677	75,295,111	△ 14,986,434
一般正味財産期末残高	88,454,333	60,308,677	28,145,656
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 259,251,782	△ 293,671,706	34,419,924
一般正味財産への振替額	△ 259,251,782	△ 293,671,706	34,419,924
当期指定正味財産増減額	△ 259,251,782	△ 293,671,706	34,419,924
指定正味財産期首残高	534,632,682	828,304,388	△ 293,671,706
指定正味財産期末残高	275,380,900	534,632,682	△ 259,251,782
III 正味財産期末残高	363,835,233	594,941,359	△ 231,106,126

地域や人と交流しながらさまざまなプログラムに挑戦する

福島こども未来塾



福島県の未来を担う人材の育成を目指し、自然体験や郷土文化の学習、国際交流など、1年をかけて総合的な体験活動を提供しています。仲間と一緒に寝食を共にし、さまざまなチャレンジを重ねながら、福島の未来や自分自身の将来を描きます。

支援総額 1.13億円

※2026年5月までの支援総額

支援人数 2,661人

主催

◎独立行政法人
国立青少年教育振興機構

連携団体

◎一般財団法人UNITED SPORTS FOUNDATION
◎NPO法人じぶん未来クラブ など



支援への御礼コメント

私たちは当たり前のように生活しているけれど、東日本大震災の時には当たり前の暮らしもできなかったことも知り、大変だったことを改めて感じました。福島こども未来塾で学んだことを、下の世代にもつなげていきたいです。

(参加者の声)



『話す・つながる』をサポート18歳まで携帯料金サポート



震災で保護者を亡くした子どもたちが、身近な人々と話し、つながるためのコミュニケーションツールとして携帯電話の料金をサポートしています。子どもたちが18歳になるまでの間、電話会社に関わらず、携帯電話やスマートフォンの料金を月々1万円までお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 2,100万円

※2026年5月までの支援総額

支援人数 66人

地域と向き合う若者の活動を支援し、東北に活気と変化を創造するユースアクション東北



地元の復興や活性化に取り組む高校生や大学生の活動を支援しています。活動費用の助成の他、活動の実現に向けて助言や協力をしてくれる「伴走者」も紹介し、東北にさらなる活気が生まれていくことを目指します。

支援総額 528万円

※2025年度活動実績なし

支援件数 37団体

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

一般社団法人
Atlantic Pacific Japan

釜石市の中高校生のための防災・海洋安全・海洋環境について学ぶ教育プログラム

宮城県立支援学校
小牛田高等学園

フラダンス部による、震災支援募金活動

一般社団法人
田部井淳子基金

東北の高校生たちと夏休みに富士山に登り、自然の素晴らしさを体験。挑戦する力や仲間と協力する力などを高める活動を支援

一般社団法人
HAMADOORI13

若者応援事業「HAMADOORIフェニックスプロジェクト」主体実施における支援

これまでのご支援誠にありがとうございます

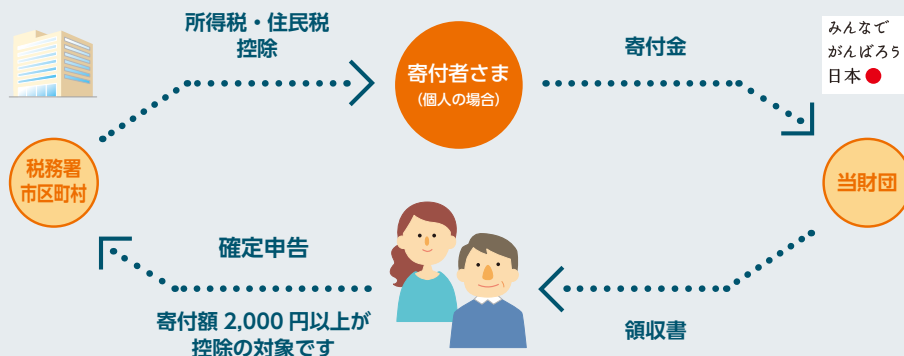
2023年3月31日を以ってご寄付の受付を終了しました。

長年にわたりご支援いただきましたこと改めて御礼申し上げます。

なお、今後も、これまでお寄せいただきましたご寄付で活動を継続いたします。

寄付の税制優遇措置について

これまで当財団にお寄せいただいたご寄付については、税制優遇の対象となります。



※ 1 個人住民税の対象は、全国一律ではありません。詳しくはお住まいの都道府県税事務所・各市町村の徴収窓口までお問い合わせください。

※ 2 法人の申告については、その法人の資産や所得の金額によって限度額が異なります。各法人の経理部門または最寄りの税務署へお問い合わせください。

団体概要

団 体 名 公益財団法人 子ども未来支援財団

設 立 日 2011年6月14日

人員構成 評議員6名、理事7名、監事2名

評 議 員 寺 島 実 郎 一般財団法人 日本総合研究所 会長
村 井 純 慶應義塾大学 特別特区特任教授
藤 原 和 博 教育改革実践家
小宮山 宏 株式会社 三菱総合研究所 理事長
中村 伊知哉 iU (情報経営イノベーション専門職大学) 学長
青 野 史 寛 ソフトバンク株式会社 上席顧問

代表理事 秋 山 忠 正

専務理事 池 田 昌 人 ソフトバンク株式会社 公共本部 本部長

理 事 佐 藤 大 吾 NPO法人ドットジェイピー 理事長
中 村 聡 宏 立教大学スポーツウエルネス学部 准教授、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事 会長
吉 田 千 亜
前 田 博 隆 株式会社前田屋 代表取締役社長
高 橋 ゆ き 株式会社ベアーズ 取締役副社長

監 事 大 城 聡 東京千代田法律事務所弁護士
大 橋 智 哉 税理士法人 山田&パートナーズ シニアマネージャー

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

※2026年8月時点の役員情報となります。

みんなが
がんばろう
日本

公益財団法人 子ども未来支援財団

info@minnade-ganbaro.jp

東京事務所

〒105-7535 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号
東京ポートシティ竹芝オフィスタワー 35 階

東北事務所

〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡一丁目 1 番 1 号
JR 仙台イーストゲートビル 3F WeWork 内



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2026年8月発行